

民主党千葉市議会議員団 幹事

麻生のりお 市議会便り

Vol.6

活気ある
千葉市へ!!

自宅：千葉市若葉区都賀の台3-10-37
事務所：千葉市若葉区西都賀5-9-1
TEL：043-207-5561
FAX：043-207-5562
E-MAIL：aso@chibadora.com

千葉市の活性化へ、新たな視点で市政へ挑戦!!

平成24年第3回定例会において、3度目の一般質問を行いました。今回は特に専門知識を活かして行政のICT化、災害対応力の強化など、市の対応が遅れている取り組みを進めるべく、指摘をさせていただきました。

引き続き、「安心・安全な千葉市へ」「活気ある千葉市へ」をモットーとし、市民満足度100%を目指して、全力で市政へ挑戦して参ります。



★献血、銀色有功章受賞! 代表で常陸宮妃殿下より授与!

千葉県赤十字大会が11月8日開催され、献血70回以上が対象となる銀色有功章を受賞し、名誉副総裁常陸宮妃殿下より、代表として授与されました。社会貢献として学生時代から続けてきた献血で、名譽ある賞をえていただき感謝致します。次は、金色有功章(100回以上)を目指していきます。



●千葉競輪場運営を、民間に包括委託へ!

千葉競輪場は、近年は約120億円の売り上げがありますが、その利益(繰入)はこの数年1,000万円程度となっており、今後の収支見込みでは平成27年度に単年度赤字が予想されています。直営による収支改善には限界が生じていることから、民間事業者のノウハウを積極的に活用することにより、一般会計への繰入金への増額を目指すため、全国13競輪で実施されている民間包括委託を来年度、千葉競輪にも導入することとなりました。

●耐震改修助成事業

平成22年現在、戸建て住宅は約154,000戸あります。昭和56年以前の戸数(耐震性がないと推測)は約44,000戸で、推定耐震化率は約72%です。共同住宅は約228,000戸あり耐震化率は約92%です。今年度当初予算件数50件が7月末に達したこと、更に50件の補正予算化を行いました。

●海浜病院にリニアック整備!

新千葉市立病院プランに基づき、「がん診療連携拠点病院」の指定を目指し、集学的のがん治療(外科手術・抗がん剤治療・放射線治療)に対応するため、海浜病院にリニアック(放射線治療装置)及びリニアック棟を整備することとしました。千葉県地域医療再生計画事業の補助条件に、平成26年4月からの治療開始が追加されたことから、計画を1年前倒し24・25年度の2ヶ年で整備するため、補正予算を計上し、債務負担行為の設定を行います。

●保育園(所)待機児童の減少

平成24年4月の待機児童数が前年の350人から、123人に大幅減少致しました。今後とも、熊谷市長を支え、より良き保育政策を進めて参ります。

●大宮台すずかけ通り街路樹の補修

地元の方々から、大宮台すずかけ通り街路樹の「土がえぐれて危ない」「自転車が転倒する危険性がある」との指摘を受け、若葉土木事務所と協議し、街路樹へ盛土し、補修しました。今後もしっかりと地域の声を市政へ届けていきます。



●千葉市議会のホームページを監修!

千葉市議会のホームページを刷新しました。昨年度から議会事務局と準備を進め、監修役として、広報委員会が選定した業者とともにリニューアルしました。とても見やすく、利用しやすくなりましたので、是非ともご覧ください。(11月7日に一般公開)

【ホームページURL】

<http://www.city.chiba.jp/shigikai/top.html>



で検索!

●防犯街灯補助事業費が拡充!

- 9月から、電気料金が値上げされました。この値上げ分の費用の90%も補助されるよう議会としても働きかけ、採択されました。また、防犯街灯のLED化は、現状は新設のみ補助されます。既設についても補助金が付くよう働きかけていきます。

●子ども医療費の助成方法が変わります!

- 本市はすでに、入院医療費について「中学校3年生まで」助成していますが、千葉県においても、平成24年12月から「小学校3年生まで」から「中学校3年生まで」に拡大されます。これに伴い、「小学校4年生から中学校3年生まで」の入院医療費助成について簡素化を図るために、保護者が医療費をいったん支払った後に助成を行う方法(償還払い)から、子ども医療費助成受給券を医療機関の窓口に提示することにより助成を行う方法(現物給付)に改めます。

平成24年12月1日施行

●航空機騒音対策

- 平成24年9月10日、熊谷市長より要請を受けた吉田治国土交通副大臣が大宮台小学校において、航空機騒音の現地視察を行い、更に市長・市民との意見交換を実施しました。その結果、以下の対応をとりました。



【国土交通省の対応】

- 航空会社に平成26年度に退役を予定しているB747に関し、更なる前倒しと減便スケジュールの明示を強く要請。
- 南ルートの高度引き上げについて、開始時期を前倒しし、検討の加速化を図るとともに、試行運用終了後、安全性等の問題がないことが確認された時点で速やかに本運用に移行する。
- 北ルートからの高度引き上げについても、南ルートからの高度引き上げ実行における検証で得られた課題を踏まえ、課題の抽出整理を最速で始める。

●みづわ台4丁目、浸水対策

- ゲリラ豪雨で膝下まで浸水被害を受けた当地区への対応について、当局との協議の結果、今年度対応できる範囲として排水口を増強していただきました。今後も当局との対応協議を続けていきます。



みづわ台4丁目の公園

◆平成24年第3回定例会(9月7日~10月3日)◆

1. 行政の電子化について

質問の
観点

- ・電子化による財政効果
- ・ICT化による行政サービスの将来性



今後の効率的な行政運営や市民サービスの向上のためには、最新のICT技術を十分に活用した行政の電子化が必要と考え、以下、現在の本市の電子化の状況等について伺います。最適化計画では、府内154の情報システムのうち63システムについて、順次、集約することとしていますが、その効果はどのように見込んでいるのでしょうか?

平成33年度までの最適化計画期間では、約10億5千万円の経費の削減を見込むとともに、制度改正や業務プロセス改革に伴う改修なども柔軟に対応できることも、効果として期待しております。



今後の本市の情報化施策は、今回質問した、統合サーバーの構築、業務プロセス改革などが適切に執行され、市民が実感できる電子行政サービスが提供されるよう、適切な人材の採用に向け、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

最後に、総合的な観点からの今後の行政の電子化への取り組みの方針について、市長に伺いたいと思います。

行政の電子化は、ICTの技術革新やマイナンバー制度などが呼び水となり、大きな変革期を迎えてます。本市においても、レガシーシステムの刷新、クラウドを活用した統合サーバーの構築、府内ネットワークの更新などに取り組むところであります。これらを情報基盤として、導入が見込まれるマイナンバー制度と合わせ、業務プロセス改革を実施しようとしています。これにより、ICTの活用を軸に、人口減少社会となる中、10年後、20年後を見据えた市役所改革が実現できると考えています。



市長も視察した韓国の始興市へ先日私も行き、先進国の取り組みを見てきました。窓口申請は全て電子化されており、例えば住民票を申請して受け取るまでの時間はわずか3分足らず、窓口で待っている人もなく、また、ペーパーレス化されており、申請用の紙媒体は一切ありません。行政キオスク端末も市内に設置されており、役所に行かなくても受け取る事ができ、また自宅のパソコンからも申請が可能となっており、行政の電子化レベルは日本より10年先を行っており、まさに行政の電子化先進国でした。今後は、日本においても民間で当たり前となっているクラウドサービスを行政でも当たり前のサービスとなるよう、そのような観点で、行政の電子化を進めるべきと考え、その取り組みに期待しております。

日本一の電子行政サービスを目指して、ICT化を要望!

一般質問の詳細については、千葉市議会ホームページの議会中継をご覧ください。

http://gikaimovie.city.chiba.jp/12_3/1002_02.html



●加曽利貝塚へ行こう!

加曽利貝塚が、特別史跡(国宝級)を目指し、取り組みを行っていることをご存知ですか?特別史跡化には、若葉区全体で気運を高めていくことも重要です。

まずは足を運んで、加曽利貝塚を深く知ってみましょう!

加曽利貝塚



で検索!



麻生 のりお プロフィール

1984年:千葉県立四街道高等学校卒業
1988年:千葉工業大学工学部電子工学科卒業
松下電器産業株式会社入社

1996年:自治体防災情報システムのスペシャリストとして、京都大学防災研究所と共同研究
米国連邦危機管理庁(FEMA)など米国防災視察団一員
都賀の台自治会 副会長

2000年:株式会社トレジャー・コミュニケーションズ代表取締役社長就任

2009年:日本ドッジボール協会関東ブロック連絡会普及副委員長

2011年:千葉県ドッジボール協会 副会長

千葉市議会議員選挙(若葉区)初当選 3,849票

総務委員会委員、防災・危機対策調査特別委員会委員、広報委員会委員

自衛官募集相談員

2012年:民主党千葉市議会議員団 幹事

議会運営委員会委員

千葉東ライオンズクラブ 幹事

2. 災害対応力の強化について

質問の
観点

- ・災害時要援護者支援システムの構築
- ・避難所運営委員会の体制構築



現在の要援護者支援情報を、区別に情報を整理し、その後、避難所毎にデータベース化し、その情報を避難所単位で配信するしくみを災害時要援護者支援システムとして取り組むことが、より実効性があると思います。どうでしょうか?



現在、要援護者名簿については、65歳以上の人々暮らし高齢者、介護保険の要介護認定者、障害者手帳所持者など、自力での避難が困難な方、約4万3千人分を町丁別、民生委員別に抽出し、市関係部局や民生委員が保有しておりますが、今後は、区別・避難所毎に情報を整理し、災害時には避難所でも迅速に活用できるよう、電子媒体での活用について検討して参ります。

避難所は開設が必要となった時に、現行計画では、召集参集と震度6弱以上の自動参集がありますが、大規模な災害時、学区外からくる施設管理者は、どのくらいの時間内で来ることとなっているのでしょうか?
また、避難所運営委員会の委員となる各避難所の区担当者にも、校舎の鍵を持っていただくことも要望しますが、見解を伺います。

避難所の開設が必要となった時には、平均30分程度で各学校に初動要員の自動参集が始まるところから、担当者の報告が必要な時期には教職員が参集できていると考えております。また、区担当者が校舎の鍵を持つことについては、今後、関係所管で協議して参ります。

災害時要援護者を支援するしくみづくりと、避難所運営委員会の設置による災害対応力の更なる強化を要望!

3. 加曽利貝塚について

質問の
観点

- ・特別史跡化申請の進捗
- ・観光資源化への構想



加曽利貝塚の地元である若葉区としては、特別史跡に向けた気運の高める施策はどう考えて取り組みますか?若葉区長へ伺います。



加曽利貝塚

「若葉区民まつり」で、加曽利貝塚博物館のボランティアによる「古代の火おこし体験」を主に子供達へ教えて貰うことになっております。また、区役所が主体となって、区役所玄関ホールなどで加曽利貝塚博物館と連携して加曽利貝塚を紹介する展示会を開催するなど、地域の方々に広く特別史跡指定へ向け取り組んでいることを認知していただき、特別史跡指定に向けて気運を高めて参ります。

市全庁あげて、まずは道路案内板・駐車場などのハード整備だけでなく、観光協会とのタイアップなど、3年後の特別史跡化を見据え、今から観光資源化の基本構想を立てるべきだと思います。見解を伺います。

現在実施している特別史跡に向けた再整理事業と併行して、今後の集客効果を高めるための具体的な計画や、将来的な構想づくりについて文化財保護審議会、博物館協議会委員の意見を聞きながら、関係部局と関係機関・団体など協議・検討をして参ります。

特別史跡(国宝)への取り組み強化と、観光資源化を要望!

市政へのご意見・ご提案をお待ちしています。



TEL : 043-207-5561

FAX : 043-207-5562

E-MAIL : aso@chibadora.com

ブログ : <http://ameblo.jp/chibashigi-aso/>

Twitter, Facebook : ID = 麻生 紀雄